学校番号	１０１２

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	PC ｽｷﾙｱｯﾌﾟ講座	単位数	２単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	日本語ワープロ検定模擬問題集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

パソコンを使い学習する時間もありますので、パソコンＩＤとパスワードも忘れないようにしてください。
PC 活用、情報内を基礎として授業を進めていきます。
情報技術の向上のために「情報ネットワーク」の活用は欠かせません。「情報分野のスペシャリスト」を目指して、情報ネットワークを業務に活用できる力を習得していきましょう。

2　学習の到達目標

１．業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得する。
２．表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。
３．ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・コンピュータやネットワークに関する情報の意義や役割を理解するとともに、情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。 ・情報活用に必要な、分析手法、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身につけている。	・適切な手段を用いて情報を収集・処理し、要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなどの思考・判断力・表現力を身につけている。	・コンピュータやネットワークにおいて、情報を主体的、積極的に活用し、将来、職場における情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表計算ソフトウェアの活用	1 情報の集計 2 情報の分析 3 シミュレーション 4 オペレーティングリサーチ 5 手続きの自動化	a: 必要な情報を得るための表計算ソフトを扱う知識と技術の習得。 b: 集積した情報を分析する知識と技術の習得。 c: 情報から予測を立て、ビジネスにどう生かしていくかの見通しを立てられるか。また、問題点を発見し、解決策を導き出せるか。	学習状況の観察 課題作品 実技テスト	レポート、発表 定期考査の結果	ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等
	データベースソフトウェアの活用	1 データベースの重要性 2 リレーショナルデータベースの概要と設計 3 データベースの作成と操作 4 手続きの自動化	a: データベースの重要性とデータを守るしくみを理解する。 b: データベースの設計と作成ができる。 c: データベースから報告書が作成できる。	学習状況の観察 課題作品 実技テスト	レポート、発表 定期考査の結果	ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等
2学期	情報システムの開発	1 表計算ソフトウェアによる情報システムの開発 2 データベースソフトウェアによる情報システムの開発	a: 表計算ソフトウェアのプログラミング機能について理解する。 b:システム開発やコンピュータやネットワークの仕組みを理解し、フローチャートが作成できる。 c: 作成したフローチャートの通りにプログラミングができる。エラーの修正ができる。	学習状況の観察 課題作品 実技テスト	レポート、発表 定期考査の結果	ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等

2学期	業務処理用ソフトウェアの活用	1 グループウェアの活用 2 ソフトウェアの活用 3 プログラミングソフトウェアの活用	a: グループウェアについて理解し、活用することができる。 b: 現場で活用されるソフトウェアについてその活用方法と意義を理解し技術を習得する。	学習状況の観察 課題作品 実技テスト	レポート、発表 定期考査の結果	ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等
3学期	情報システムの基礎	1 情報通信ネットワークの導入と運用 2 情報資産の保護	a: 情報通信機器などハードとソフトの概念について理解する。 b: 情報資産とは何か理解し、その重要性と保護する方法について習得する。	学習状況の観察	レポート、発表 定期考査の結果	ノートやワークシートの記述 レポート、発表 相互評価・自己評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度